

MPE720 バージョンアップ情報

1. 機能追加・改善項目

MPE720 Ver. 5. 55 → Ver. 5. 56 の機能追加・改善項目は次のとおりです。

No.	機能項目	分類
1	MECHATROLINK-III 分散 I/O に対応	新規追加
2	ラダー並列回路のコピー & ペースト時のメモリ解放	改善
3	アプリケーションコンバータのレジスタ変換改善	改善
4	アプリケーションコンバータのプログラム変換改善	改善
5	EXPRESSION での LONG 型データ範囲オーバーのチェック改善	改善
6	通信プロセスのポート設定の「デフォルト指定」動作改善	改善

2. 修正内容説明

No.1 MECHATROLINK-III 分散 I/O に対応

MECHATROLINK-III の分散 I/O として次の 4 機種をサポートしました。

JEPMC-MTA2900-E
JEPMC-MTA2910-E
JEPMC-MTP2900-E
JEPMC-MTP2910-E

No.2 ラダー並列回路のコピー&ペースト時のメモリ解放

ラダーエディタ画面にて、並列回路をコピー&ペーストする際に余分なメモリを消費していたので、解放するように改善しました。

No.3 アプリケーションコンバータのレジスタ変換改善

MP900→MP2000 へアプリケーションコンバートを行う際に、下記レジスタについては自動で変換されていなかったためこれを変換できるように改善しました。

追加した変換則:

- ・「OW**36」⇒「OL**52」へ変換
- ・変換結果は Warning 出力としてログ表示

No.4 アプリケーションコンバータのプログラム変換改善

MP2000 シリーズではモーションプログラムのコンパイルチェックが強化され、以前の MP900 ではコンパイル可能でも、同じプログラムを MP2000 では保存できないものが存在します。アプリケーションコンバータでは、このような MP2000 ではコンパイルできないプログラムが存在しているとそれ以降のモーションプログラムのコンバート処理に失敗していました。

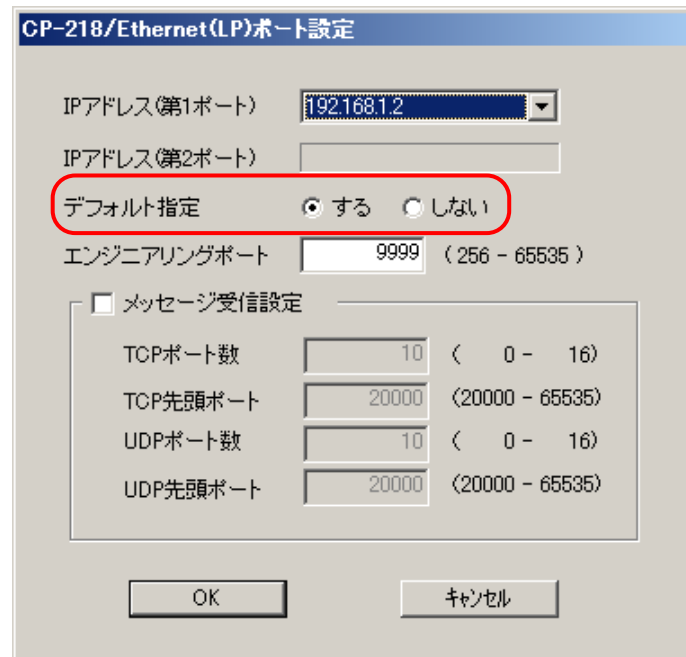
今回、このようなプログラムが存在していてもコンパイルが継続して行えるように改善しました。

No.5 EXPRESSION での LONG 型データ範囲オーバーのチェック改善

EXPRESSION 命令にて、LONG のデータ範囲を超える値を記述してコンパイルすると不完全なコードが生成されていたため、LONG のデータ範囲を超える場合は、コンパイルエラーとするよう改善しました。

No.6 通信プロセスのポート設定の「デフォルト指定」動作改善

通信プロセスの CP-218、Ethernet(LP) のポート設定にて、「デフォルト指定」を「しない」に設定しても MPU-01 に接続できるようにしました。以前のバージョンでは、接続できませんでした。



CP-218/Ethernet(LP)ポート設定

IPアドレス(第1ポート) 192.168.1.2

IPアドレス(第2ポート)

デフォルト指定 ☒ する ☐ しない

エンジニアリングポート 9999 (256 - 65535)

☐ メッセージ受信設定

TCPポート数	10	(0 - 16)
TCP先頭ポート	20000	(20000 - 65535)
UDPポート数	10	(0 - 16)
UDP先頭ポート	20000	(20000 - 65535)

OK キャンセル